



フードバンクしまね
あったか元気便だよ!

2023.9月発第23号
フードバンクしまね
あったか元気便事務局

“わたしもオシャレします”とお礼が届きました

8月便を受け取ったおかあさんから「夏休みの昼ごはんに頭を悩ませていたので、助かりました。子どもたちは、箱の中の桃の缶詰をみて大喜び。子どもたちにゼリーを作ろうと約束しました。また、思いがけず化粧品までいただきましたが、私はそれが一番嬉しかったです。オシャレします」とお礼のメールが届きました。

夏休み便第2弾は517世帯、1880人のご家族に8トンをお届けしました



夏休み元気便の第2弾は、8月18日に1日3回のパッキングと発送作業を行い、21日には、JA津田、生協しまね浜乃木ステーション、大輪こどもハウスの3つの会場で引き渡しをおこないました。7月末からはじまった8月便の準備には、のべ201人のボランティアさんが参加しました。8月のあったか元気便では、517世帯、1,880人の家族に総量8.2トンをお届けすることができました。

まちの隅々に… 県内各地で設置がすすむ応援自販機

あったか元気便の応援自販機が、松江市、出雲市、浜田市など県内各地に広がっています。これまでの設置数は17台。検討中も6台になりました。設置場所も銀行、病院、オフィス、小売店、食品工場、バイク屋さんなど様々です。この自販機は、売上金の一部がフードバンクしまねあったか元気便への寄付金になります。設置時の費用は一切ありません。



7月に本社社屋など同社に2台設置いただいた松江土建(株)経営企画室 課長補佐の中島真奈美さんは「3年前からフードドライブ、パッキングボランティアなどを取り組み、社内における認知度も進み、共同募金と応援自販機導入と応援の幅が広がりました。弊社は、地域の担い手として、そこに暮らす人々の幸福を追求することを経営理念としております。今後も、理念追及の形を創造し、環境整備のみならず暮らしを、また心の豊かさをより育むため、役職員一同努力し続けたいと思っています。」と抱負を寄せていただきました。

この夏も「お昼ごはん+寺子屋(学習応援)」をひらきました

昨年に引き続き、この夏休みも就学援助世帯の子どもたちを対象にした「お昼ごはん+寺子屋(学習応援)」が、古志原公民館、津田公民館で7月31日から8月11日まで、のべ4回開かれ、小学1年生から小学6年生までの、のべ20人の子どもたちが参加しました。島根大学生や高校生らのべ9人が、夏休みを返上し、学習応援ボランティアとして参加しました。

また、津田民児協、古志原民児協や食生活改善推進協議会津田地区、同古志原地区ののべ19人のみなさんが、ボランティアで夏野菜カレーやスパゲティーなど子どもたちが大好きなお昼ご飯を作ってくださいました。

島根銀行と出店販売店会から、 寄付金をいただきました

8月25日、島根銀行本店で同行と同行の出店販売会(85社)のみなさんからの寄付金30万円の贈呈式が開かれました。この日は、同行鈴木良夫頭取より目録と「今後も引き続き継続して応援をしていきたい」と激励をいただきました。春日理事長は、「相次ぐ物価の値上がりは、フードバンクの財政も「直撃」しています。みなさんから引き続き温かいご支援を」とお礼を述べました。

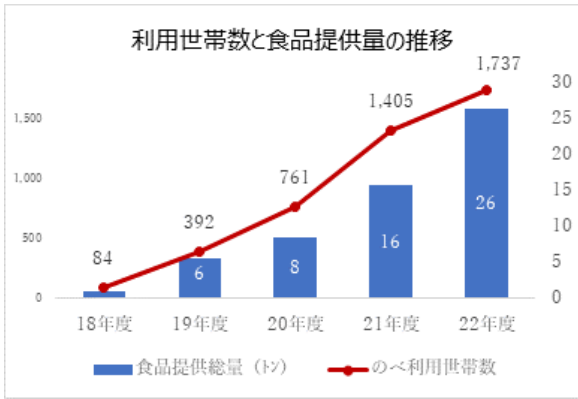


クラウドファンディング100万円、 食材購入費用確保にご協力下さい

フードバンクの利用世帯の増加とともに、相次ぐ物価の高騰でフードバンクの財政も厳しい運営環境にあります。

こうしたなかでも、募金目標100万円を達成し、食品提供を通じて就学援助世帯の子どもたちに「元気な食卓」と「家族の団らん」届けたいと思います。みなさんからのご寄付は、全額食材費用の購入に充てさせていただきます。

このクラウドファンディング(しまね社会貢献基金)は、島根県が管理、運営する基金です。ふるさと納税と同じ税の優遇措置があり、個人の場合、2千円を超える金額に所得税、住民税の控除があります。法人の場合は、全額損金扱いとなります。



山陰両県のネットワークづくりへ フードバンクの意見交換会を開きました

8月24日鳥取県湯梨浜町で、鳥取、島根のフードバンクに取り組む団体の意見交換会が開かれました。当日は、フードバンクとっとり、フードバンクよなご、フードバンクしまねあったか元気便をはじめ、鳥取県庁、米子市役所の担当者、弓ヶ浜水産、ワーカーズコープなど20人が参加しました。



それぞれの取り組みの紹介を行った後、食品や財源の確保など取り組みの課題について意見交換し、両県でのフードバンクの連携やネットワークづくりに向け、引き続き交流を行っていくこととしました。

ボランティア参加、ご協力ありがとうございました



大庭地区民児協、古志原地区民児協、津田地区民児協、朝日地区民児協、白湯地区社協、雑賀公民館、城北公民館、朝日公民館、島根県社協、松江市社協、損保ジャパン、松江土建、松江キワニスクラブ、出雲東地区郵便局長婦人会松江第三部会、未来学園、ろうきん友の会、きらく寿会、いきいきスポンジテニスクラブ、末日聖徒イエスキリスト教会、グリーンコープ、生協しまね、サクラ高等学院、JAしまね、松江地区労福協、中国労金島根営業本部、松江保健生協、fuku・にいさん会、くにびき学園健福29期、県職連合松江支部、くにびき学園銭太鼓クラブ、全農林松江分会、JUKI 松江労組、中電ユニオン松江支部、安来市職労、PID 労組松江支部、JP 労組松江支部（7月・8月分、個人の方を除く、順不同、敬称略）

こんなメッセージをいただきました

食べ盛りで食費がたくさんかかります。部活動での食費や高校のお弁当も始まり、なかなか苦勞しています。夏休みは特に厳しいので、すごく助かります。こういった支援があることにびっくりしました。

物価が高騰する中、色々な物を買うのにも子どもに我慢させる事が多く、食費が少しでも浮けば子ども達に違う形で靴や服を購入できて、ありがたいです。

今年で末っ子も中学三年生。最後の年になりました。3年間いつも届くのを楽しみにしておりました！&助かりました！最後までワクワクしながら待っております。

初めての申込みで、少し躊躇しましたが…ひとり親でいっぱいになる事も多く、子ども達の毎日がもっと充実する事を願って利用させて頂こうと思いました。

コロナ禍以降、益々経済的に厳しい現状です。教育(塾)や活動体験(習い事等)など機会を他世帯のように平等に与えたいのですが松江市ではひとり親低所得者に対する自治体独自の給付金や家賃補助、また塾や習い事等の補助もなく、子どもに格差が広がることも懸念しています。そんな中、あったか元気便の皆様には文字通り心身あたたまるような支援を頂きありがとうございます。

初めてあったか元気便が届いた時は、想像以上の贈り物と、温かいお手紙にとっても感動しました。また、まだまだ自分の事しか考えられなかった次男が、「俺も大人になったらこういうの出来る人になりたい」と呟いたことも、とても嬉しかったです。今年度は高校、中学のダブル入学で、出費が大変でしたが、春に届いた元気便にとっても救われました。本当に感謝しています！

今年も竹下さんの ブドウが届きました



8月21日「あったか元気便の利用者のみなさんにぜひ届けたい」と松江市の竹下さんから、今年も自宅の庭で丹精込めて育てられたブドウが届きました。竹下さんからは「なんとか8月の元気便に間に合うように」と天候不順とも格闘しながら、この日12キロのブドウをいただきました。

さっそく、大輪子どもハウス、浜乃木ステーションの2つの受け取り会場で、60人余りの利用者みなさんに手渡され、思わぬプレゼントに受け取った利用者の方から「うわあ〜、うれしい」と感謝、感激の声があがりました。

